

### 臨時号 学校評価アンケート（前期）の結果より

10月に実施しました「学校評価アンケート」にご協力いただき、ありがとうございました。  
結果がまとまりましたのでご報告いたします。

学校教育目標・基礎学力定着・道徳教育など、梅津小学校教育を進める上で、特に大事にしたいことに絞ってアンケートをとり、保護者・児童・教職員の三者の比較ができるようにしました。  
保護者の方・児童にはどれだけでできているかの「実現度」を、教職員にはどれだけ指導をしているかについての「実現度」を尋ねました。

確かな学力 項目		そう思う	大体そう 思う	あまりそう 思わない	そう思わな い
毎日の学習がよくわかる。 （わかる授業の工夫）	保護者	34.3%	60.7%	4.4%	0.3%
	児童	54.7%	38.7%	5.3%	1.3%
	教職員	18.2%	81.8%	0.0%	0.0%
自分の考えをもち、自信を もって伝える。発表する。	保護者	19.6%	48.9%	26.5%	5.0%
	児童	33.7%	34.9%	23.0%	8.4%
	教職員	13.0%	60.9%	26.1%	0.0%
人の話を考えながら聴く ことができている。	保護者	18.7%	61.4%	18.4%	1.6%
	児童	52.3%	36.3%	9.4%	1.9%
	教職員	0.0%	52.2%	47.8%	0.0%
意欲的に読書をしている。	保護者	16.5%	32.4%	35.2%	15.3%
	児童	39.5%	32.2%	19.7%	8.6%
	教職員	17.4%	73.9%	8.7%	0.0%
宿題や自主学習をしている。	保護者	39.9%	47.4%	10.3%	2.5%
	児童	62.8%	25.9%	9.2%	2.2%
	教職員	30.4%	65.2%	4.3%	0.0%

#### <考察> 確かな学力

全体的に児童の実現度が高い項目が多く、しっかりと学びに向かっている様子が伺えます。  
しかし、「自分の考えをもち、自信をもって伝える。発表する。」、「意欲的に読書をしている。」の項目では、7割前後の児童が満足できると回答するにとどまっています。梅津小学校では、子どもにつけたい資質・能力を「伝える力」とし、授業の中で「伝え合う」活動に取り組んでいます。また、毎日、朝学習の時間に読書をしています。子どもたちに定着できるように、これらの取組をより進めていきたいと考えています。

豊かな心 項目		そう思う	大体そう 思う	あまりそう 思わない	そう思わ ない
気もちのよい挨拶ができる。	保護者	22.1%	51.1%	22.7%	4.0%
	児童	53.6%	32.7%	10.3%	3.4%
	教職員	13.6%	77.3%	9.1%	0.0%
決まりや約束を守ることができる。	保護者	43.9%	53.3%	2.8%	0.0%
	児童	58.2%	35.9%	4.9%	1.0%
	教職員	17.4%	78.3%	4.3%	0.0%
周りの人のために何かを がんばることができる。	保護者	26.5%	58.6%	14.0%	0.9%
	児童	55.3%	33.8%	7.9%	2.9%
	教職員	13.0%	73.9%	13.0%	0.0%
命あるものを大切にできている。	保護者	50.8%	45.5%	3.7%	0.0%
	児童	82.8%	13.7%	3.1%	0.4%
	教職員	39.1%	60.9%	0.0%	0.0%
子どもが時間を意識できるよう になっている。	保護者	19.6%	43.6%	32.1%	4.7%
	児童	47.1%	41.3%	9.9%	1.7%
	教職員	8.7%	87.0%	4.3%	0.0%
学校に来るのが楽しい。 （子どもが大切にされ 認められる学校である。）	保護者	24.3%	67.9%	7.2%	0.3%
	児童	60.1%	26.5%	9.0%	4.3%
	教職員	17.4%	73.9%	8.7%	0.0%
友だちを大切にし、 誰とでも仲良くできる。	保護者	38.0%	55.8%	5.9%	0.3%
	児童	78.6%	17.7%	2.9%	0.8%
	教職員	17.4%	73.9%	8.7%	0.0%
憧れや目標にしている人がい る。 （憧れや目標の話をしている。）	保護者	16.8%	40.2%	35.8%	7.2%
	児童	62.9%	17.8%	8.8%	10.5%
	教職員	4.3%	78.3%	17.4%	0.0%

#### <考察> 豊かな心

「あいさつ」の項目に関しては、昨年度に引き続き、特定の人のみならず、他者意識・相手意識をもって、進んでコミュニケーションをとる大切さを伝えていきたいと思います。  
「子どもが時間を意識できるようになっている。」の項目に関しては、保護者の受け取り方がやや低いです。学校では校時表に沿って、時間を意識して生活できています。放課後や休日においても規則正しい生活が送れるように、家庭でも話していただけたらと思います。

健やかな体 項目		そう思う	大体そう思 う	あまりそう 思わない	そう思わな い
基本的な生活習慣が身に ついている。 (早寝早起き・朝食)	保護者	42.1%	44.5%	11.8%	1.6%
	児童	62.8%	25.5%	7.8%	3.8%
	教職員	18..2%	68.2%	13.6%	0.0%
進んで体を動かしたり、 スポーツ活動に参加 している。	保護者	38.9%	30.8%	25.2%	3.7%
	児童	59.2%	21.7%	11.5%	7.6%
	教職員	4.3%	69.6%	26.1%	0.0%

＜考察＞健やかな体

基本的生活習慣について、「早寝早起き」「朝食の摂取」「運動習慣」など、良い生活習慣をつけている児童は学力も高いと考察されています。今後も大切にしていただければと思います。

学校では、休み時間に密を避けながら外遊びをしたり、部活動を再開したりと、運動習慣がより定着するように取り組んでいます。

昨年度にもふれましたが、携帯機器・ゲーム機などを寝床に持ち込んで就寝時刻が遅くなるといったことがあるようです。引き続き、児童が寝られる環境を作っていただきたく思います。

連携 項目		そう思う	大体そう 思う	あまりそう 思わない	そう思わな い
子どもの成長や課題の共有	保護者	24.0%	65.1%	10.3%	0.6%
	児童	52.6%	30.3%	11.9%	5.2%
	教職員	30.4%	65.2%	4.3%	0.0%

＜考察＞連携

学級・学年だよりやホームページでより細かな様子を発信しています。

今年度は、懇談会を実施できておらず、担任と保護者が直接話す機会が減っています。ご質問ご意見がございましたら、些細なことでも結構ですので、遠慮なくお問い合わせください。

～自由記述欄より～（⇒部分は学校側の見解です。）

- 先生が子どもたちをさん付けで呼ぶクラス、呼び捨てされるクラスがあり、担任によって異なるのが気になる。  
⇒子どもたち全員をさん付けで呼ぶように、教職員間で再度確認したいと思います。
- ぐんぐんタイムを週1回から週2回にしたらどうでしょうか？  
⇒放課後の時間に、個別の課題に応じた指導を充実させていきたいと思います。
- 今年はとくに学年が低い子どもたちが朝の登校時に、集団登校班から当たり前のように遅れ、何人かで違う通学路を歩いているのを見かけます。
- 6時ごろまで近所のお家がたまり場状態になっています。防犯的にも暗くなってから遊んでいるのはどうかと思います。  
⇒安全面を考慮して、ご家庭で帰宅する時刻や遊び方のルール、集団登校について話し合っただけだったと思います。
- 子どもたちの姿や授業の展開から、どのような子どもたちの心を育みたいのか疑問に思うことがありました。  
⇒つきたい力を指導者が明確にもち、「主体的・対話的で深い学び」を展開していく中で、子どもたちが自己の思いや考えを伝え合える授業を構築できるよう、教職員が一丸となって、授業改善に努めています。
- リモートで参観や懇談会をする時代になっているが、梅津小学校は時代の流れに追いついていない。  
⇒感染症予防の対策をとることで、可能な限り保護者に梅津小学校へ来ていただき、参観や懇談会に参加していただけるように考えています。
- 旗当番の際、保護者や校門に立っている先生にあいさつをする子どもがいない。  
⇒校内では進んであいさつできる子が増えてきています。地域でも大人が進んで声をかけることで、よりよい姿を示していければと思います。
- 学年によってホームページの更新にかたよりがあるようにみられます。  
⇒どの学年も子どもたちの学校での様子をお知らせするために、積極的に更新していきたいと思います。

～「学校運営協議会」より、評価結果についてのご意見をいただきました～

- 伝え合うには、聞く力も必然であることを痛感しました。子どもたちに接するとき、肝に銘じたいと考えます。
- あいさつは、しっかり声をかけてくれる子がいる。
- 道いっぱいに広がって下校する子がいる。注意しても聞かない。
- 読書について、低学年から中学年に向けて絵本から読み物へ移行する時期なので、その時に子どもたちが興味をもつ本を提供できるか考えたい。また、感想や意見を述べ合うことで、「自分の考えをもち、自信をもって伝える」「人の話を考えながら聴く」力につなげられるのではないかと思います。
- 子どもの時間意識は学校で守れていても家で守れていないことが多い。まずは、保護者が時間を守る姿を見せることが必要と思う。
- 子どもは親が自分に対してどれだけの時間や労力を使ってくれるのか敏感に感じています。そのためにも、子どもがかかわる学校に興味をもっていただき、参観やさまざまな行事などに参加してもらえるとよいなと思います。子どももきっと喜ぶはずだと思いました。
- コロナ禍の中で、子どもたちや先生方の努力が数字に表れていると思います。

今回、回答していただいたアンケートの結果から、「わかる授業の工夫」「規範意識」など、満足度が高い項目もあれば、「自分の考えを伝えること」「読書」「あいさつ」「時間の意識」など、課題が残る項目もあります。アンケート結果を真摯に受け止め、学校としての組織的な改善につなげたいと思います。

今回いただいたご意見は全教職員で共有しております。継続するところは引き継ぎ、改善すべきところは具体的に改善するなど、よりよい梅津教育を進めていきたいと思います。ご協力ありがとうございました。